



第58回大阪国際フェスティバル2020
関西フィルハーモニー管弦楽団創立50周年記念

円熟を極める
マエストロと
ワーグナー楽劇の
神髄に挑む

飯守泰次郎×関西フィル ワーグナー

特別演奏会 RICHARD WAGNER
Special Concert

リヒャルト・ワーグナー作曲

歌劇「タンホイザー」◆序曲 ◆歌の殿堂のアリア(ソプラノ) ◆夕星の歌(バリトン)

楽劇「トリスタンとイゾルデ」◆前奏曲と愛の死(ソプラノ)

楽劇「ニーベルングの指環」

〈ワルキューレ〉◆ワルキューレの騎行 ◆ヴォータンの別れと魔の炎の音楽(バリトン)

〈神々の黄昏〉◆ジークフリートの葬送行進曲 ◆ブリュンヒルデの自己犠牲(ソプラノ)

関西フィルハーモニー管弦楽団 桂冠名誉指揮者

指揮 **飯守 泰次郎**

Taijiro Iimori (Cond.)

WAGNER



ソプラノ

リカルダ・メルベート

Ricarda Merbeth (Sop.)



バリトン

ミヒヤエル・クプファー＝ラデツキー

Michael Kupfer-Radecky (Bar.)



管弦楽

関西フィルハーモニー管弦楽団

Kansai Philharmonic Orchestra

2021 **1.23** (土) 16:00開演 (15:00開場) **ザ・シンフォニーホール**
上演時間: 約2時間40分 (休憩1回含む) (大阪府北区大淀南2-3-3) ※通常の大阪国際フェスティバルとは会場を変更しています

全席指定・消費税込み — SS席 10,000円 / S席 8,500円 / A席 7,500円 / B席 6,500円 **2020年10月14日(水) 10:00 一般発売!**

ご予約・お問い合わせ — 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381 (平日10:00~17:00/土曜10:00~16:00/日祝休み) <https://kansaiphil.jp/>

主催: 朝日新聞文化財団、朝日新聞社、関西フィルハーモニー管弦楽団

協賛: 朝日放送グループホールディングス、関電工、サントリーホールディングス、ダイキン工業、高砂熱学工業、竹中工務店、西原衛生工業所 協力: フェスティバルホール、日本ワーグナー協会

ワーグナーの総本山、バイロイト音楽祭で音楽助手を務めた飯守泰次郎 その“魅力”と“魔力”を語る —

私が最初にワーグナーの魔力に圧倒されたのは、20代半ばの1966年、バイロイト音楽祭のマスタークラスに初めて参加したときのことです。朝から晩までワーグナー漬けになり、高熱を出して寝込んで、魅力と同時に毒があることを思い知らされました。音楽のみが持つ、人の心を動かす効果を駆使し、いつの時代にも通じる有機性と普遍性を含んだ内容を表現する、魔力ともいえる驚くべき力。これこそ、ワーグナーの魅力なのです。

飯守 泰次郎 (指揮) Taijiro Iimori (Cond.)

桐朋学園で学んだ後ヨーロッパで研鑽を積み、1970年からバイロイト音楽祭の音楽助手。マンハイム市立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場などの指揮者を歴任。国内では東京シティ・フィル常任指揮者としてワーグナー「ニーベルングの指環」全4作を上演し、2003年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。関西フィル常任指揮者としては2001~2010年、ベートーヴェン交響曲・協奏曲全曲ツクルスのほか、「魔笛」「フィデリオ」「青ひげ公の城」「ワルキューレ」などを演奏会形式で上演。2011年から同団桂冠名誉指揮者。2014年9月から4年間、新国立劇場オペラ芸術監督。同劇場で「バルジファル」「ニーベルングの指環」「フィデリオ」などを指揮。2012年度文化功労者および日本芸術院賞、日本芸術院会員。



リカルダ・メルベート Ricarda Merbeth (Soprano)



ドイツ生まれ。ワーグナーやR. シュトラウスの代表的歌手として国際的に名高い。1999年にウィーン国立歌劇場「フィデリオ」のマルツェリーネでデビューし、2004年の「ダフネ」で大成功、一躍その名をとどろかせた。2000年バイロイト祝祭劇場にデビュー。2002年「タンホイザー」エリザベート、2013-18年「さまよえるオランダ人」ゼンダで大好評を得る。世界の主要歌劇場、東京・新国立劇場にも数多く出演。大阪国際フェスティバルには、2019年「サロメ」(演奏会形式)表題役に続く2度目の登場。

ミヒヤエル・クプファー＝ラデツキー Michael Kupfer-Radecky (Baritone)



ドイツ出身。2000年から定期的にチロル音楽祭に招かれ、「ニーベルングの指環」ヴォータン、グンター役で出演。2016年、「ワルキューレ」ヴォータン役でハンガリー国立歌劇場にデビュー。「ニュルンベルクのマイスタージンガー」ハンス・ザックスをバリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座で歌い、ベルリン・ドイツ・オペラでの「サロメ」ヨカーナ役でも大きな成功を収めた。2018年には東京・新国立劇場でのカタリーナ・ワーグナー新演出「フィデリオ」にドン・ピツァロ役で登場、好評を博した。

関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年創立。オーギュスタン・デュメイ音楽監督のほか、首席指揮者藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の3指揮者を擁している。2014年10月よりスタートしたBSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30~)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡るヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。2020年に楽団創立50周年を迎えた。

チケット料金(全席指定・消費税込み) — **SS席 10,000円 / S席 8,500円 / A席 7,500円 / B席 6,500円** **2020年10月14日(水) 10:00 一般発売**

ご予約お問い合わせ

- 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381 (平日10:00~17:00/土曜10:00~16:00/日祝休み) <https://kansaiphil.jp/>
- 関西フィル友の会・サポーターズ会員先行受付開始 2020年10月9日(金)10:00 ※一般発売・WEBチケット販売(会員含む)は10月14日(水)より
- ザ・シンフォニーホール チケットセンター 06-6453-2333 (10:00~18:00/火曜休業)
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 186-914]
- フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) <https://festivalhall.jp>
- フェスティバルホール「友の会」先行受付開始 2020年10月9日(金)10:00 ※窓口での販売は10月15日(木)より[残席がある場合]

● 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、客席は前後左右1席ずつ間隔を空けての配席を予定しておりますが、政府によるクラシックコンサートにおける収容率の上限が緩和されたことから、発売開始時からすべての席を販売対象といたします(ステージに近い一部の席を除きます)。
● 今後の感染状況の変化によっては、方針を変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

※やむを得ない事情により曲目・出演者等を一部変更する場合があります。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

朝日カルチャーセンターで関連講座を開きます

① 10.25(日) 11:00~12:30 会場:アサコムホール/中之島フェスティバルタワー12階
「ワーグナーとバイロイト音楽祭」藤野一夫(神戸大学教授・日本ワーグナー協会理事)

② 10.31(土) 13:00~15:00 会場:アサコムホール/中之島フェスティバルタワー12階
「ようこそ、(ニーベルングの指環)の作品宇宙へ」山崎太郎(東京工業大学教授・日本ワーグナー協会理事)

申し込み受付 朝日カルチャーセンター中之島 06-6222-5224 (月~土 9:30~18:30)
8.28(金)9:30~ <https://www.asahiculture.jp/nakanoshima>

主催: 朝日カルチャーセンター、朝日新聞文化財団、朝日新聞社

主催者よりお客様へ感染症予防対策へご協力のお願い

- ① 当日体調にご不安のある方は、無理をなさらないようお願いいたします。
- ② 入場時に体温チェックをし、37.5度以上の方は入場をお断りさせていただきます。
- ③ 時間には十分余裕をもってお越しください。
- ④ プログラムや配布物はお客様ご自身でお取りいただけます。チケットはスタッフが目標で確認後、ご自身でもぎって所定ボックスにお入れください。
- ⑤ 入場時の手指消毒及びマスクを着用されない方の入場はお断りいたします。マスクのご用意は致しかねますのでご了承ください。
- ⑥ 「ブラボー」などのかけ声はお控えください。

本公演は、2020年5月30日に予定されていた第58回大阪国際フェスティバル2020/関西フィルハーモニー管弦楽団創立50周年記念「楽劇「ニーベルングの指環」ハイライト(演奏会形式)」の代替公演として開催されます。